

2013年9月27日 日本数学会 2013年度秋季総合分科会

On Oguiso's $K3$ surface

瀧 真語 (Shingo Taki)

東京電機大学情報環境学部

1 はじめに

X : $K3$ 曲面 .

ω_X : 至るところ消えない 2-form .

$S_X := \{x \in H^2(X, \mathbb{Z}) \mid \langle x, \omega_X \rangle = 0\}$

$T_X := \{y \in H^2(X, \mathbb{Z}) \mid \langle x, y \rangle = 0, \forall x \in S_X\}$

σ : X 上の位数 I の自己同型 .

定義 σ が非シンプレクティック $\Leftrightarrow \sigma^* \omega_X = \zeta_I \omega_X$

命題 (Nikuin)

Φ を Euler 関数とすると, $\Phi(I)$ は $\text{rk } T_X$ を割り切る .

なお $2 \leq \text{rk } T_X \leq 21$ である .

2 I が素数ベキのとき

I が素数ベキのとき，その値は次のいずれか．

- 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19
- 4, 8, 16, 32
- 9, 27
- 25

命題 (金銅) $I = 32$ ならば σ^* は S_X に自明に作用しない．

注意 . I を上の一覧の値として， $I \neq 32$ であれば， S_X に自明に作用する $(X, \langle \sigma \rangle)$ の例は存在する．

3 小木曾の $K3$ 曲面 (1)

例 (小木曾)

- $X_{\text{og}} : y^2 = x^3 + t^2x + t^{11}$,
- $\sigma_{\text{og}}(x, y, t) = (\zeta_{32}^{18}x, \zeta_{32}^{11}y, \zeta_{32}^2t)$

とすると X_{og} は $K3$ 曲面で, σ_{og} は X_{og} 上の位数 32 の非シンプレクティック自己同型である .

特に σ_{og} は Néron-Severi 格子 $S_{X_{\text{og}}}$ へ位数 2 で作用する .

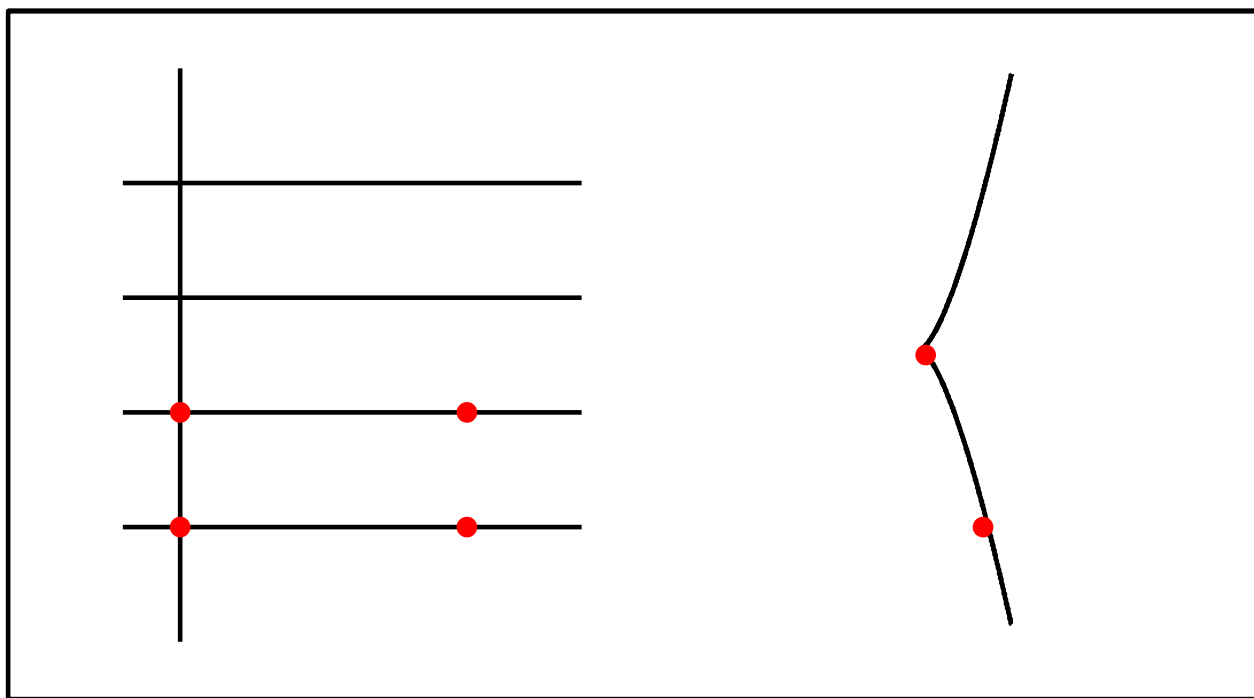
主定理

X を $K3$ 曲面, σ を X 上の位数 32 の非シンプレクティック自己同型とする . このとき組 $(X, \langle \sigma \rangle)$ は組 $(X_{\text{og}}, \langle \sigma_{\text{og}} \rangle)$ に同型である .

4 小木曾の $K3$ 曲面 (2)

$$X_{\text{og}} : y^2 = x^3 + t^2x + t^{11},$$

$$\sigma_{\text{og}} : (x, y, t) \mapsto (\zeta_{32}^{18}x, \zeta_{32}^{11}y, \zeta_{32}^2t)$$



X_{og}

\mathbb{P}^1

$$\text{Fix}(\sigma_{\text{og}}) = \{P_1, \dots, P_6\}$$

5 証明の概略

X : $K3$ 曲面 , σ : 位数 32 の非シンプレクティック自己同型 .

1. $\Phi(32) = 16$ は $\text{rk } T_X$ を割り切るので , $\text{rk } S_X = 6$.
2. レフシェッツの公式 $+\alpha$ により , 次がわかる .
 - $\text{Fix}(\sigma) = \{P_1, \dots, P_6\}$.
 - 不変格子 $S_X^\sigma := \{x \in S_X \mid \sigma^*(x) = x\}$ の階数は 5 .
 - σ^* は S_X へ位数 2 で作用する .
3. σ -安定な楕円曲面 $\pi : X \rightarrow \mathbb{P}^1$ の構造を調べる .
(σ^m , $m = 2, 4, 8, 16$ の固定点集合の様子が手がかかり)
4. X の Weierstrass 方程式 を決定 .